令和6年度 第3回 松阪市入札等監視委員会 議事録

開催日時	令和5年10月28日(月) 午後2時00分～午後3時15分
開催場所	松阪市立鎌田中学校
出席者	委員長 楠井 嘉行 (三重大学学長顧問/弁護士/博士(医学)) 委員 伊藤 久美子 (三重県私学協会専務理事/博士(法学)) 委員 横山 賢 (前 三重県建設技術センター常務理事/一級建築士) 委員 鏡 大介 (税理士)
事務局	契約・検査担当参事 野邊 検査指導係長 稲森 契約監理課長 池内 契約担当主幹 長崎 調達担当主幹 内田 契約係主任 杉 検査指導担当主幹 茨木
議題	議題1 入札及び契約の状況報告(令和6年7月から9月分) ・工事の発注状況について 議題2 抽出事案の審議(伊藤委員) 議題3 随意契約に係る意見聴取について

委員	事務局
●入札及び契約の状況報告	
・入札及び契約の状況報告として、今期7月から9月までの工事発注状況について事務局より説明されたい。	・工事の発注状況について 第2四半期の入札件数は、総計110件。内訳として工事が86件、委託が17件、入札不調は2件、中止は5件。契約金額は、総計27億7,494万9,100円で、そのうち工事が25億6,794万5,600円、委託が2億700万3,500円。平均落札率は、全体で88.69%、工事90.26%、委託80.75%。平均参加者数は、全体で11.0社、工事11.9社、委託6.5社。
●抽出事案の審議(伊藤委員抽出)	
この四半期における高落札率の案件、入札参加者が少数となった案件などについて確認	抽出事案を説明させていただく。 まず、土木一式工事。今期は22件。最低制限

<p>したい。事務局に説明をお願いしたい。</p>	<p>価格と同額となり「電子くじ」にて落札者を決定した案件が 19 件。入札参加者数も概ね 10 社以上あり競争性は働いたものとする。</p> <p>そのなかでもまず、「松阪市公共下水道事業 災害用マンホールトイレ設置工事(その1)」は「インセンティブ型」で発注を行った。当該案件は、土木一式C 1500 万円～3000 万円で発注した結果、8 社 (20/76 中) となった。最低制限価格と同額で 8 社によるくじ引きで落札者を決定。</p> <p>「令和 6 年度飯南町粥見防火水槽撤去工事」、「田引久保線道路修繕工事」、「大崩線道路修繕工事」、発注基準 土木一式で設計金額 1,500 万円未満で飯南・飯高管内の地域指定型となっており、入札参加者少数の傾向があり、結果として落札率が高くなった。</p> <p>次に建築一式工事。今期は 9 件。これまで同様に、建築一式工事は参加業者自体が少ない。最低制限価格付近での応札で競争性は働いているものとする。</p> <p>舗装工事は今期 15 件。全案件が最低制限価格と同額となった業者が複数あり「電子くじ」にて決定。10 社以上の参加があり、競争性は働いたとする。</p> <p>電気工事は今期 4 件。3 件が最低制限価格と同額での応札額であり、「電子くじ」にて落札者を決定。また、「第 6-101 号阪内低区配水池外 3 施設水位計更新工事」は最低制限価格付近での応札であり競争性はあったものとする。</p> <p>管工事は今期 5 件。これまで同様に、管工事は参加業者自体が少ない。最低制限価格付近での応札で競争性は働いているものとするが、「清生町団地 C13 棟受水槽改修工事」は参加可能業者が少なく、落札率が高くなったとする。</p> <p>管工事今期は 5 件。これまで同様に、管工事は参加業者自体が少ない。最低制限価格付近での応札で競争性は働いているものと考えてい</p>
---------------------------	---

るが、「清生町団地 C13 棟受水槽改修工事」については参加可能業者が少なく、落札率が高くなったと考える。

電気通信工事は今期 1 件。公告 172「松阪市民病院放送設備改修工事」は公告 174「松阪市民病院スピーカー改修工事」と公告 86「松阪市民病院放送設備改修工事」と併せて説明する。まず、公告 86「松阪市民病院放送設備改修工事」が不調となり、再度設計を行い、公告 172「松阪市民病院放送設備改修工事」と公告 174「松阪市民病院スピーカー改修工事」で工事内容を分けて同日で発注したが、いずれも同じ 2 社が参加し、うち 1 社が公告 171「松阪市民総合運動公園公園灯整備工事」を落札した結果、同日落札制限により 172、174 に参加できなくなり、残る 1 社が 172 を落札した結果、同日落札制限により 174 に参加できなくなり、174 が入札参加者がいなくなったため、不調となった。174 は 2 回入札不調となっており、工事の完成期限まで時間に余裕がないことから、2 回目の入札に参加していた 2 者でに見積を徴し、予定価格以下最低制限価格以上の範囲内で最低価格の業者である明光電気株式会社と随意契約を締結した。

防水工事は今期 1 件。8 社の参加があり、最低制限価格付近での応札で競争性は働いているものと考ええる。

水道本管工事、鋼構造物工事、交通安全施設等工事、その他工事、除草等業務委託は全て最低制限価格と同額の応札であり、公告番号 85、121 を除き、「電子くじ」にて落札者を決定。

続いて、樹木・芝生管理（年間）は今期 2 件。生き物である植物の管理で特殊業務となることから技術者資格（主任技術者（1 級技能検定造園合格者が直接作業を行うこと））を参加要件としている。最低制限価格付近にあることから、現在のところ問題ないと考ええる。

次に測量、建設コンサルタント関係の報告。

<p>・それでは、私からの抽出案件として何点か注目しましたので確認していきたい。</p> <p>建築一式工事参加者は多くないものの、競争性が確保されていると思われる。一般的に解体工事が主となる建築一式工事については受注者の利益は確保されているのか。</p> <p>インセンティブ型入札について参加業者が</p>	<p>測量、地質調査は最低制限価格と同額の応札額が複数者あり「電子くじ」にて落札者を決定。</p> <p>建築設計は2件。例年は5社以上の参加があるが、前期に引き続き入札参加が少ない。民間受注などの、手持ち件数から入札参加を控えられたものと推測します。「三雲北こども園外1園特定天井改修工事設計業務委託」の入札参加は4者で、うち1者が最低制限価格をわずかに下回り失格となり、結果として93.69%となった。</p> <p>続いて、建設コンサルタント（下水道、上水道、道路、鋼構造）については、8件全て最低制限価格と同額での応札となり公告110を除き、「電子くじ」で落札者を決定。</p> <p>その他（委託）は3件。うち2件は同額での応札となり、「電子くじ」において落札者を決定しており競争性は働いたと考える。「松阪市デジタル同報系防災行政無線回線品質改善調査設計業務委託」同様の内容で津市においても複数社入札があり、県内業者で実績のある業者が多数あり十分に競争性が担保できると考えたが、結果として1者のみの参加となった。</p> <p>次に入札中止。今期は5件。業者質問によるものが4件、担当職員によるものが1件です。</p> <p>解体工事が主となる建築一式工事は他工事と同様に管理費等を公共単価で積算しており、事業者の利益が確保されていると考える。</p> <p>今年度のインセンティブ型入札対象は優良</p>
---	--

<p>比較的少なく、参加者が増えるよう、より魅力的で、参加しやすくなるよう見直してはどうか。</p> <p>中止案件が無くならない。これまでも注意喚起も行っているが、傾向分析などしているのか。</p> <p>参加者が多い工事は、最低制限価格での電子くじが多い。事業者からは特に意見はないか。</p> <p>特殊性や困難性の高い案件は参加者が少ない。参加者が少ないことが予想される場合は、どのような対策をとっているのか。</p>	<p>工事 8 社、平均成績点 85 点以上 19 社、災害復旧工事受注実績 2 社のべ 30 社、対象業者 22 社、参加可能数が最大の土木一式工事 C で 20 社である。参加者数が比較的少なかったのは業者手持ち工事数も影響していると推測するが、工事対象箇所をアクセスし易い場所を選定する等、改善を図りたい。</p> <p>工事担当課の担当者が設計積算後、課内で検算等のチェックなどは、これまでもされていますが、共通のチェックリストを作成、利用することでチェック体制を強化している。また、年度が替わると人事異動などにより設計ミスリスクが増すことから設計違算をなくすための取組みを継続するとともに、契約監理課としましても中止理由となった原因を全庁的に情報共有しながら再発防止に努めていきたいと考える。</p> <p>現状、電子くじの改廃について意見をいただいていない。くじでの落札業者は同日落札制限により以降の同日案件は無効となり、まんべなく落札者が決定されている。</p> <p>特殊性や困難性が高く発注基準に抛り難い場合は「松阪市入札及び契約審査会」に諮り、地域条件の拡大や履行実績の検討を行い、多くの参加者が見込め、競争性が確保されるよう、別途決定している。</p>
<p>●随意契約締結に係る意見聴取について</p>	
<p>委員会としての意見</p> <p>・随意契約としての要件は充たしており、やむを得ないものと考えるが、契約金額の妥当性は十分検討されたい。</p>	<p>① 令和 6 年度松阪市森林整備事業業務委託（その 1）</p> <p>松阪市森林整備事業は、森林の持つ公益的機能の発揮を促すことを目的に、市と森林所有者及び認定林業事業体の 3 者による「松阪市森林整備事業に関する協定」を締結し、所有者に代</p>

<p>.....</p> <p>委員会としての意見</p> <p>・随意契約としての要件は充たしており、やむを得ないものとするが、契約金額の妥当性は十分検討されたい。</p> <p>.....</p> <p>委員会としての意見</p> <p>・随意契約としての要件は充たしており、やむを得ないものとするが、契約金額の妥当性は十分検討されたい。</p>	<p>わり市が対象森林の森林整備（間伐）を実施する事業である。</p> <p>このことから、3者協定に基づく間伐であること、また実施にあたっては、所有者から同意を得ている認定林業事業者（松阪飯南森林組合）でなければ業務の遂行はできないことから、松阪飯南森林組合と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約を締結した。</p> <p>.....</p> <p>② 令和6年度松阪市公共建築物定期点検業務委託</p> <p>本業務を行うことができる者は、専門的な知識を有する資格者に限定されており、公共施設の用途・規模等を勘案するとその資格者の中でも一級建築士による点検が望ましいところである。さらに、本業務を安定的に継続かつ質の高い点検・調査報告を得るためには、習熟した多くの点検調査者を要したうえで、各調査者が作成した報告書をすべて精査し、均一かつ一定の水準以上の品質を確保できる体制が構築されている必要がある。</p> <p>「一般社団法人三重県建築士事務所協会」は、市内及び県内の多くの建築士事務所が会員として所属しており、全施設の報告書を一括して管理する体制を県内で唯一構築しているため、昨年度に引き続き一般社団法人三重県建築士事務所協会と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約を締結した。</p> <p>.....</p> <p>③ 使用済スプレー缶等処理装置借上</p> <p>環境省から住民が使用済スプレー缶やカセットボンベを廃棄する際、穴開けをしない方向が望ましいとの事務連絡が出されていること、消防署からも同様の指摘があったこと又、使用済スプレー缶等が原因とみられる塵芥収集車の積込装置や破碎ピットでの爆発や火災が発</p>
---	--

<p>.....</p> <p>委員会としての意見</p> <p>・随意契約としての要件は充たしており、やむを得ないものとするが、契約金額の妥当性は十分検討されたい。</p> <p>.....</p> <p>委員会としての意見</p>	<p>生しており危険であること、車両や施設の修繕となった場合に費用が高額になってしまうこともあり、住民が穴あけ作業をすることなくごみ出しでき又、環境に適した方法で安全に処理できる装置を平成21年9月から導入している。</p> <p>市民や事業者から排出される使用済スプレー缶等を環境に適した方法で安全に処理できる装置を製造している業者の中で、ガスライターも処理できる装置を現在、製造・販売・リースをしているのは㈱中島自動車電装のみであり、保守点検も含め他社より安価な価格となるため地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約を締結した。</p> <p>.....</p> <p>④ 児童手当システム 令和6年度法改正対応（こども未来戦略方針対応）</p> <p>「こども未来戦略方針」に基づき、令和6年度に児童手当制度の見直しが行われ令和6年10月1日から実施予定であった。</p> <p>法改正に対応したパッケージシステムへの改修を行い、令和6年9月間までに制度改正に関する通知等を発送し、令和6年12月の初回支給に向けて、早急に住民情報システムとの効率的な連携を図り、本市の業務システム（e-AD2）を、今回の制度改正に伴う児童手当の拡充に合わせ活用する必要がある。</p> <p>委託先の㈱松阪電子計算センターは、松阪市の業務システム（e-AD2）の運用委託業者であり、業務システム（e-AD2）に児童手当制度改正の要件に合わせ活用するためのパッケージシステムを短期間に改修できるため株式会社松阪電子計算センターと地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約を締結した。</p> <p>.....</p> <p>⑤住民情報システムサーバ機器等賃貸借・保守</p>
---	--

<p>・随意契約としての要件は充たしており、やむを得ないものとするが、契約金額の妥当性は十分検討されたい。</p> <p>.....</p>	<p>業務</p> <p>令和元年4月1日から利用している現行の住民情報システム用機器等賃貸借保守の契約は、令和6年9月30日までとなっていますが、次期住民情報システムは、法律に定められた標準化・共通化対応とともにシステム更新業務を遂行するため、令和7年10月1日からの運用開始を予定しています。このため、住民サービス提供を維持するために、現行システムの利用期間を令和6年10月1日から令和7年9月30日まで1年間の延長利用を行います。これに伴い、住民情報システムの基盤となる本業務も住民情報システム利用と同じように1年間の延長利用を行います。</p> <p>なお本業務は、機器の仕様に問題がなければ価格競争が可能のため、当初は一般競争入札を実施した。今回は現行の住民情報システム用の機器賃貸借保守の延長利用であり、安全で安定した機器の運用保守を実現することが必須であることから、本業務で必要となる機器設計や機器構成について、他社にはない知識と技術を保有し、現行の機器等の導入業者であり、機器賃貸借運用保守を行っている現行業者以外が本業務を行うことは不可能であるため、株式会社松阪電子計算センターと地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約を締結した。</p> <p>.....</p>
<p>委員会としての意見</p> <p>・随意契約としての要件は充たしており、やむを得ないものとするが、契約金額の妥当性は十分検討されたい。</p>	<p>⑥住民情報システム賃貸借・保守</p> <p>令和元年10月1日から利用している現行の住民情報システムの契約は、令和6年9月30日までとなっていますが、次期住民情報システムは、法律に定められた標準化・共通化対応とともにシステム更新業務を遂行するため、令和7年10月1日からの運用開始を予定しています。このため、住民サービス提供を維持するために、現行システムの利用期間を令和6年10</p>

<p>.....</p> <p>委員会としての意見</p> <p>・ 随意契約としての要件は充たしており、やむを得ないものとするが、契約金額の妥当性は十分検討されたい。</p> <p>.....</p> <p>委員会としての意見</p> <p>・ 随意契約としての要件は充たしており、やむを得ないものとするが、契約金額の妥当性は十分検討されたい。</p>	<p>月1日から令和7年9月30日まで1年間の延長利用を行います。</p> <p>本業務は、現行の住民情報システムの延長利用であり、安全で安定したシステム運用を実現することが必須であることから、本業務で必要となるシステム設計、システム構成について、他社にはない知識と技術を保有し、現行システムの導入業者であり、システム賃貸借運用保守を行っている株式会社松阪電子計算センターと地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約を締結した。</p> <p>.....</p> <p>⑦飯南火葬場火葬炉修繕</p> <p>飯南火葬場は、平成17年度の建設から約18年が経過しており、火葬設備に経年による劣化が見られ、30年間利用するため、修繕を行うことで施設の延命化を図る。</p> <p>火葬炉は必要な性能を指定して発注しており、施設構造や使用環境に基づき主燃焼炉から排気までの設備配置構造等をメーカーが計算し、各メーカーの規格や仕様にて独自に設計制作され、一体として機能するプラント設備である。設置メーカー以外の他社が施工した場合、既存機器との互換性の低下による設備の不具合や、一体性が失われたことによる、性能低下の可能性があり、円滑な施設の運営に支障をきたす恐れがある。</p> <p>そのため、施工当初から、年次点検報告や、必要な修繕を行い施設性能の維持を請負っている(株)宮本工業所と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約を締結した。</p> <p>.....</p> <p>⑧幸生ポンプ場施設整備工事</p> <p>幸生ポンプ場は、昭和59年度に供用を開始し、両岸にφ500ミリの水中ポンプを2基擁し、幸生町地内に集水した雨水を名古屋川へ排水</p>
---	--

<p>.....</p> <p>委員会としての意見</p> <p>・ 随意契約としての要件は充たしており、やむを得ないものとするが、契約金額の妥当性は十分検討されたい。</p>	<p>する雨水排水ポンプ施設である。右岸側は平成 20 年度に更新、左岸側は平成 23 年度に工場に搬入し、分解整備を行っているが、前回修繕より 10 年以上経過しており、腐食や摩耗等が進行しているため、排水ポンプの取替工事を行い、機能の維持を図る。</p> <p>本工事は、幸生ポンプ場の機能を損なうことなく、取替工事を行う必要性から、既存の設備と密接不可分な関係にあり、同一施工者以外の者に施工させた場合、責任の所在が不明確となりポンプの運転に著しい支障となるおそれがあるため、新設工事受注者であり、設置当時から現在まで修繕整備を請負っている株式会社鶴見製作所中部支店と地方自治法施行令第 167 条の 2 第 1 項第 2 号により随意契約を締結した。</p> <p>.....</p> <p>⑨松阪市障害者福祉センター 昇降機改修工事</p> <p>今回の対象となるエレベーターは、平成 4 年 3 月の完成となっており、法定償却耐用年数の 17 年を相当経過している。また、メーカーからの通知により、保守部品供給期限（最長）も 2027 年 12 月とされ、かつ、改正建築基準法上要求される、戸開走行保護装置の未設置や耐震性への未対応などにより、利用者への安全性・快適性が懸念されるため、早急に改修することが急務となっている。</p> <p>昇降機については、各社オーダーメイドによる設備であり、メーカー毎に使用される資機材などにおいて、それぞれ規格、仕様、配置等が異なっている。今回の工事内容が既設機器（乗場戸開装置一式と乗場ドア、三方枠、敷居等）を流用し、主要部装置（制御盤、巻上機等）の更新を行うことから、既設機器と新規機器の整合・調整が必須となっており、一体的なシステムとして稼働させるには、当初設置したメーカ</p>
---	--

<p>.....</p> <p>委員会としての意見</p> <p>・ 随意契約としての要件は充たしており、やむを得ないものとするが、契約金額の妥当性は十分検討されたい。</p>	<p>ーでない調整ができないことから、三菱電機ビルソリューションズ株式会社と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約を締結した。</p> <p>.....</p> <p>⑩田引浄水場膜ろ過モジュール更新工事</p> <p>田引浄水場の浄水方式は膜ろ過方式を採用しており、当方式では定期的に膜ろ過モジュールの洗浄ないし交換が必要となる。当施設の膜ろ過モジュールは2014年及び2018年に洗浄を行っている。その際の報告書において早期のモジュール交換を推奨されている為、浄水機能の維持を図る必要性から更新を行うものである。</p> <p>膜ろ過モジュールは各メーカーにより仕様が異なり、他社にて交換作業を行うことができない。また、膜ろ過システムの一部であり、万が一不具合が発生した場合、水質悪化、断水などの可能性があることから、既設のろ過装置を熟知した業者を選定する必要がある。その為、ろ過装置の設置業者であり設置当時から現在まで修繕等を請負っている株式会社ウォーターテック関西支店と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約を締結した。</p>
<p>●次回開催日程及び抽出委員について</p>	
	<p>・ 次回開催日については、令和7年1月28日(火) 15:00からとする。</p> <p>・ 抽出委員は横山委員とする。</p>